



第1回スペイン日本語教師会シンポジウム開催

2010年6月18日・19日、2日間にわたって第1回スペイン日本語教師会シンポジウムが開催された。



会場は4月に正式オープンした国際交流基金マドリッド文化センター (C/ Almagro, 5)。シンポジウムにはスペイン全国とフランスやドイツから計52名の日本語教育関係者が参加した。

開会式では在スペイン日本国大使館広報文化担当の横林直樹一等書記官からお言葉をいただいた。先に2月に行われた設立総会では、高橋文明大使から教師会の課題として、増え続ける日本語

の需要に早期に対応できる体制を確立すること、そして上級者向けの日本語教育を強化し、スペインでの日本研究の拡充を図っていくことが挙げられたが、横林様からはこれらの課題に加えて、スペイン日本語教師会が今後組織として市や行政と協力して活動して行くこと、そして将来的には全国規模の弁



論大会や日本語関係のイベントを企画して行くことが提案された。

今回のシンポジウムのテーマは「EUに於けるスペインの日本語教育」。複数の国と

文化が共存する欧州では「複言語主義・複文化主義」の理念のもと、言

The rich heritage of diverse languages and cultures in Europe is a valuable common resource to be protected and developed, ...

語政策について研究が重ねられ、2001年ついに「欧州言語共通参照 (CEFR)」が完成した。それに伴い、各国

では外国語教育が抜本的に見直され、現在ではどの国においても「A1」や「B2」といった名称が共通の尺度として使われようになった。その中で日本語も、欧州言語ではないものの、欧州で使用される外国語の1つとしてCEFRに準拠させる必要があり、ドイツやベルギーの教育現場では早くから改革が行われてき



た。また同時に、日本国内でも国際交流基金や各研究機関で研究が進められており、代表的なものとしては「JF日本語教育スタンダード」(<http://jfstandard.jp>)が今年7月、国際交流基金から発表されている。

一方、スペインでは、近年日本語の学習人口が急増しているが、CEFRを取り入れている機関はまだ数えるほどしかない。その背景には今までスペインに於いて日本語がマイナーな外国語であり、統一された教育体制が確立されていなかったことや、言語として日本語が欧州言語とは異なることが挙げられるが、ますますグローバル化が進む今日において、日本語教育を国際標準に近づけて行くことは必須の課題と言える。

このような状況を受けて「第1回日本語教育シンポジウム」は、EUの一員であるスペインに於いて、日本語教育がどのような状況にあるのかを振り返り、CEFRを正しく理解した上で、今後どのように変わって行くべきなのか、その指針を見いだすことを目標とした。

まず基調講演では元アイルランド国立大学ダブリン校の織田智恵先生から「CEFR-常に未完の書-」という題のもと、CEFRの理念、設立に至るまでの歴史、そしてその将来の姿についてお話をいただいた。1枚の表に集約されたCEFRであるが、その背景には50年以上にわたる研究と試行錯誤の歴史があり、参加者にはその経緯を知る貴重な機会となった。

基調講演に続いては、実際にCEFRを日本語教育に適応して行く作業として、4つのワークショップが催された。1つ目の「CEFR入門編」(国際交流基金関西国際センター、熊野七絵講師)ではCEFRにまだ馴染みの薄い参加者を対象に、CEFRの5つのカテゴリー、Can-do Statements、自己評価表について説明が行われ、日本語教育のために開発された「JF日本語教育スタンダード」を用いながら、各レベルの特徴や各技能の関連などについて理解を深めるワークが行われた。

入門に続く「CEFR応用編」(ベルギー・ルーヴァンカトリック大学、櫻井直子講師)では、CEFRを実

際に授業に生かして行く方法に焦点が当てられ、授業目標の設定の仕方から教案に結びつけて行く作業まで、様々なワークが行われた。

シンポジウム2日目には、「応用編」の続きとして3つ目のワークショップ「CEFRを踏まえた教室活動案」(マドリッド・コンプルテンセ大学、鈴木裕子講師)が行われた。ここでは実際に「みんなの日本語初級I」(スリーエーネットワーク)12課を例にCan-do statementsが



紹介され、それをベースに考案された教室活動を参加者が体験した。さらに、その教室活動をレベルに合わせてアレンジしたり、Can-doの目的に合わせて異なる活動を考えたりするワークが行われた。

最後のワークショップ「日本語成人教育」(教皇立コンキージャス大学、藤野華子講師)では、生涯学習に焦点が当てられ、いわゆる「社会人」が大半を占める「成人学習者」



国際交流基金マドリッド文化センター 2010秋より専門家きたる!

今回のシンポジウムでもお世話になった熊野七絵先生が専門家としてマドリッドに赴任されることになった。早速本号のために一言いただいた。

「今秋から国際交流基金マドリッド日本文化センターに日本語教育上級専門家として着任することになりました。前任地関西国際センターでは日本語研修や教材・Webサイト制作に携わっていました。海外経験は米国とタイで、ヨーロッパは初めてです。教師会も設立され、情熱と勢いのあるスペインで仕事ができることをとても楽しみにしています。スペインの日本語教育をみなさまといっしょに盛り上げていきたいと思っていますので、よろしくお祈りします!」

国際交流基金マドリッド文化センター 図書室のご利用案内

場所: C/Almagro 5-4^a, Madrid

開館時間: 月~木 10:00~14:00、
金 15:00~19:00、土日祝休

- APJE会員に限って10:00~14:00の間、随時閲覧可能。
- 一般向けにも開放予定。
- 貸し出し開始時期は未定。

の学習について、彼らの言語学習能力の特徴が紹介され、彼らの学習に必要な配慮や工夫について話し合われた。

また、今回のシンポジウムではスペインで初めてとなる、スペイン人日本語教師によるパネルディスカッションが行われた。司会は Francisco Barberán 講師 (Universidad de Zaragoza)、パネリストには Jordi Mas López 講師 (Universitat Autònoma de Barcelona)、María Teresa Rodríguez Navarro 講師 (Universitat Autònoma de Barcelona)、Isabel San Gabino Ortíz 講師 (Escuela Oficial de Idiomas de Madrid)、María Dolores Rodríguez del Alisal 講師 (Escuela Oficial de Idiomas de



Madrid)を迎え、日本語を専門とする

に至った過程、日本語についての思い、それぞれの教師経験などについて意見が交わされた。特に学習者と同母語の教師による日本語教育の利点については大きな関心が寄せられた。当セッションは一般公開され、外部からの参加者も会場に見られた。

以上の盛り沢山のプログラムに加えて5つの研究発表と4つの実践報告が行われ、第1回スペイン日本語教師会シンポジウムは幕を閉じた。シンポ



ジウムが有益な情報交換の場となり、スペインに於ける日本語教育がより充実したものとなるのが実行委員一同の願いである。尚、シンポジウムの論文集は今秋にもデジタル版で発行される予定だ。 (藤野 華子)



会長よりご挨拶

「第1回スペイン教師会シンポジウムに参加、ご協力いただき、ありがとうございます。」

今回のシンポジウムでは、今、ヨーロッパの言語教育で何が起きているか、それを日本語教育でどう活かしていけるのか、それを体験していただきたく、テーマをCEFRに絞りました。少しでも先生方のご参考になったのであれば、本望です。また、シンポジウムを通して、各地で教えておられる先生方と出会い、情報交換をすることができたのは、何よりの収穫だったと思います。これからも集まるたびに、その輪が広がっていくことを願い、楽しみにしています。」

鈴木 裕子

広がるAPJE会員！ (2010.09現在)

REGIÓN	人数
Andalucía	3
Aragón	1
Castilla- La Mancha	1
Castilla y León	10
Cataluña	6
Galicia	5
Islas Baleares	1
C. Madrid	31
Murcia	2
Navarra	2
País Vasco	1
C. Valenciana	3
Extranjero (JP, FR, DE)	7
TOTAL	73

会計よりお知らせ

ようやく銀行口座ができましたので、お知らせいたします。

名義 Asociación de Profesores de Japonés en España

銀行名 BBVA

口座番号 0182 4028 79 0201546006

- 2010年度会費未納の方は、上記まで振り込んでいただくようお願いいたします。
- 振込み時に「Concepto: Cuota del año 2010」と、会員名を書いてください。
- 2010年度会費は、一般会員 20€、学生会員 15€です。



左から (敬称略) : 益子夏実、Francisco Barberán、櫻井直子、藤野華子、鈴木裕子、織田智恵、Hugo Lázaro、熊野七絵、上野宏之